

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	総合交通施策懇話会事務事業			事業コード	0093
担当課等	所属名	建設部 交通政策課	担当係名		
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	建設部 交通政策課 吉田 大輔	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	総合交通体系の確立	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 08款04項09目 交通政策推進事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 平成9年度～)		
事務事業の概要	総合的な交通政策に関する意見を得るために、総合交通施策懇話会を開催する。主な業務(懇話会の開催、会議の招集(通知)、会議資料の作成、委員報酬の支払い、会議結果の取りまとめ)					
根拠法令等	総合交通施策懇話会設置要領					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
慢性的な交通渋滞を解消するため、バス利用促進を目的としたオムニバスタウン計画を策定するにあたって意見を得る機関として発足した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
懇話会委員から「政策の検討段階から多くの意見を述べられるようにしてほしい」との要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
<ul style="list-style-type: none"> ・行財政構造改革等による事業費削減により道路整備が進まない。 ・環境に負荷をかけない生活への関心が高まっている。 ・自動車保有台数や運転免許保有者数の増加により自動車利用台数が増加している。 ・高齢化社会に対応した交通のあり方を考える必要がある。 ・マイカーを抑制し、公共交通や自転車の利用の促進を図る必要がある。 ・公共交通の利用促進等(ソフト)施策とそれを支える効果的な効率的な道路整備(ハード)施策を組み合わせた交通戦略を推進していくことが必要である。 						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市総合計画における総合交通体系の整備に関する施策	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 施策の数	単位	個
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・平成18年度から取り組んでいる街路交通情勢調査の検討組織として懇話会に委員会を組織し、2回の委員会を開催し「もりおか交通戦略計画(案)やその後実施したパブリックコメントの結果などについて質疑を行い意見を頂いた。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 委員会を2回開催し、もりおか交通戦略推進に向けた施策検討等について意見を得る。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 懇話会開催回数	単位	回
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・懇話会での意見等を基に、施策の効果・実効性を高める。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 協議事項 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	総合的な交通体系が確立され、快適に移動できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	施策の数	個	4	4	4	4	4	4	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	懇話会開催回数	回	3	2	2	1	2	2	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	協議事項	件	3	2	2	1	2	2	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	263	302	460	129	360	360	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	263	302	460	129	360	360	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	263	302	460	129	360	360	*****
	延べ業務時間数	時間	200	200	200	50	200	200	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	800	800	800	200	800	800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,063	1,102	1,260	329	1,160	1,160	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:市の交通施策に関して意見を得る組織であり、交通手段と施策の体系確立に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:市の交通施策の方向性等を協議することが設置の目的であることから、基本的に市がやるべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:平成21年度に策定した「もりおか交通戦略」について、戦略実施のための実施・管理組織の検討の必要がある。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:テーマに応じて、専門的な組織及びNPO等の連携により、より専門的な議論を展開することにより成果を向上させる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:市の総合的な交通施策に広く意見を得る機会がなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事業費は委員の報償金であり、これ以上の委員及び委員会開催回数の削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:現在の事務量は、最低限のものである。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 平成21年度に策定した「もりおか交通戦略」の実施状況等を把握・評価する組織としての役割を持たせる等の拡充が望まれる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 庁内関係課及び関係機関との調整が必要。</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>22年度は、都市計画道路整備プログラムの検討を行うなど、これまでのソフト面の検討に加えハード面に対する検討を行うなど、幅広い検討をお願いしてきている。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>交通に関する他の協議会等との統合や分科会を設けるなどの検討を行い、組織の効率化や幅広い議論の場としての役割を持たせるように取り組む。</p>												